

企業活動に関する取り組み

2016年度 日本における環境負荷データ

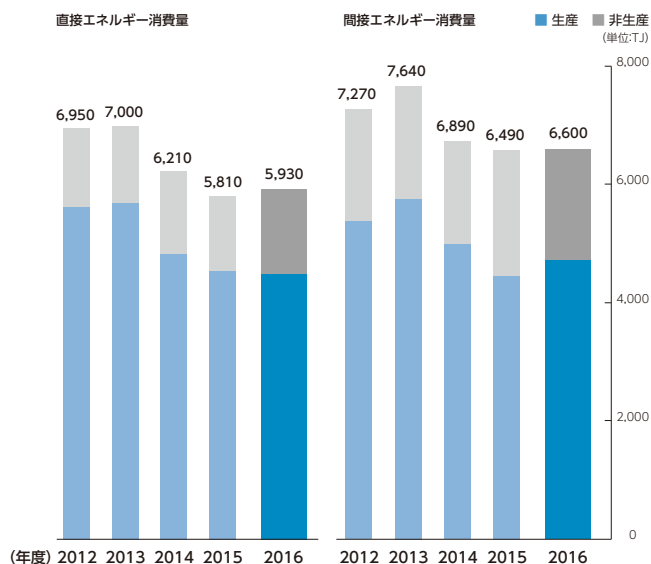
Hondaは、生産領域では地域が誇れる工場のあるべき姿を目指す「グリーンファクトリー」を推進し、非生産領域においても「グリーンロジスティクス」「グリーンディーラー」「グリーンオフィス」を推進するなど、企業活動全領域において環境負荷を低減するべく、各事業所で省エネルギーや廃棄物削減などの取り組みを展開しています。

ここでは、日本国内のHondaグループにおける以下5つのデータについて公開しています。

- エネルギー消費量
- 温室効果ガス排出量
- 水資源使用量/排水量
- 廃棄物等
- その他排出物発生量

- ・データの集計対象範囲は各データにより異なります。各データの【集計対象範囲】をご確認ください
- ・データ集計の見直しにより、一部過去にさかのぼって数値を訂正しました
- ・合計値が3桁以上の場合は、有効数字3桁で表示しています

■ エネルギー消費量

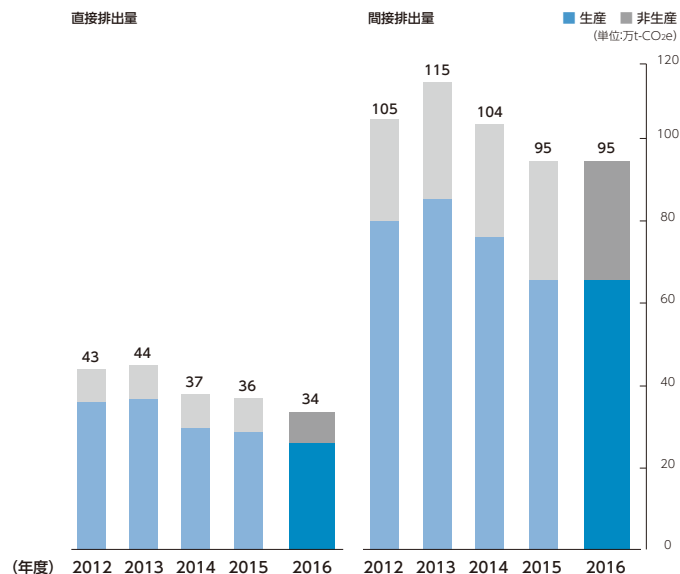


【集計対象範囲】

日本国内のHondaグループの
連結会社、関連会社すべて

- ・購入電力は、日本国内に関しても3.6[GJ/MWh]でJ(ジュール)へ変換
- ・主に固定源からのエネルギー消費量を算出
- ・単位のTJ(テラジュール)とはエネルギーの単位で、テラは10の12乗

■ 温室効果ガス排出量



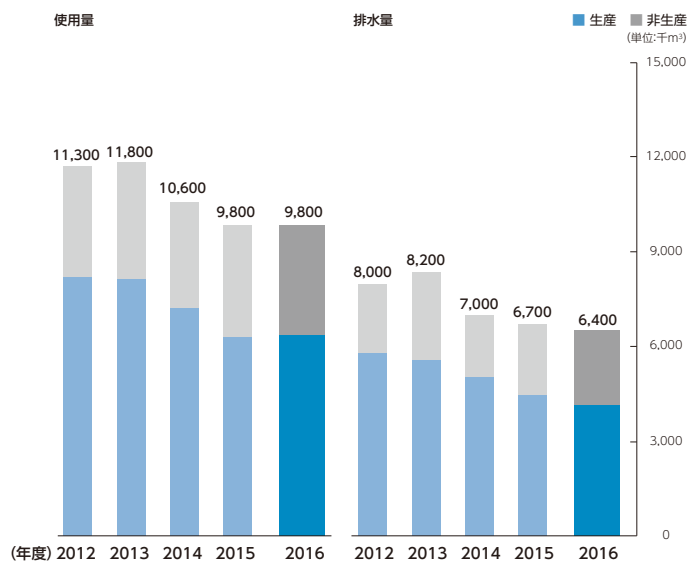
【集計対象範囲】

日本国内のHondaグループの
連結会社、関連会社すべて

- ・温室効果ガス算出方法は、主に経済産業省・環境省(2013)、“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.3.4”とWRI/WBCSD(2004)、“The Greenhouse Gas Protocol (Revised Edition)”を参照
- ・購入電力からのCO₂排出量は、電力会社ごとの最新の係数をもとに算出
- ・主に固定源からの温室効果ガス排出量

企業活動に関する取り組み

■ 水資源使用量／排水量

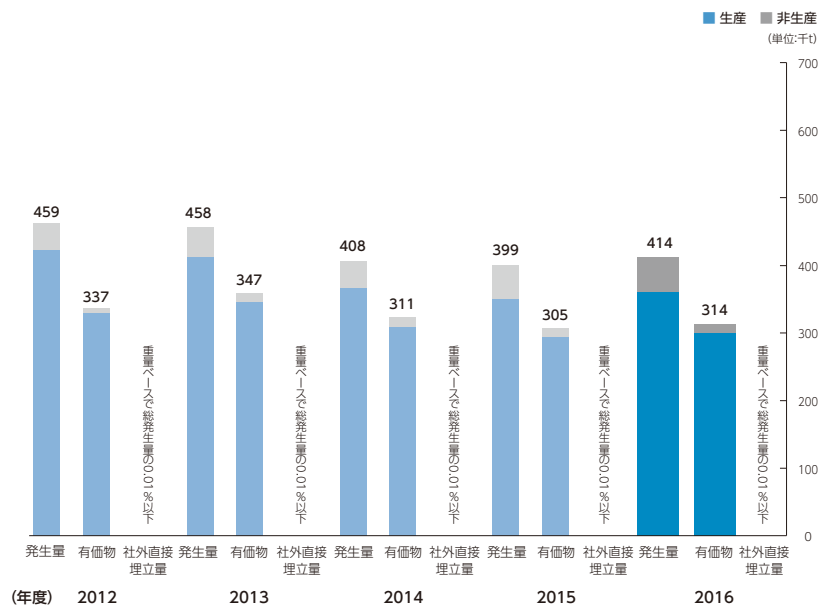


【集計対象範囲】

日本国内のHondaグループの連結会社、関連会社ほぼすべて

・排水量は推計値を含む

■ 廃棄物等

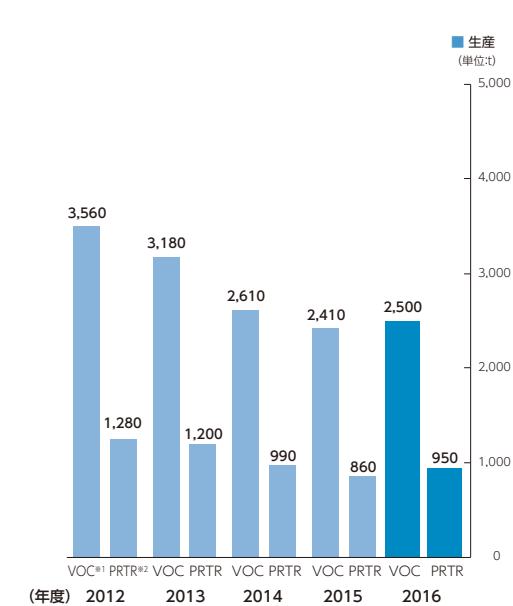


【集計対象範囲】

日本国内のHondaグループの連結会社、関連会社ほぼすべて

・社外直接埋立量の%は重量を基準に計算

■ その他排出物発生量



【集計対象範囲】

本田技研工業(株)と連結子会社および関連会社のうち生産系会社のほぼすべて

※1 VOC(揮発性有機化合物):主に塗料やシンナー中に含まれる有機溶剤に由来する光化学オキシダントの原因となる化学物質

※2 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)制度「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の対象物質